

彙 報

平成二十六年 密教文化研究所だより

本年度、密教文化研究所では、「弘法大師の思想とその展開に関する研究」「密教の形成と流伝に関する研究」「密教と現代社会の諸問題に関する研究」を事業の柱として、研究所研究員を中核とした定例研究会のほか、外部講師を招聘しての連続講座・シンポジウム等を開催し、伝統教学の継承と社会への普及に努めた。

また、昨年度から新規事業として「宗教と科学の対話プロジェクト」を発足。宗教と科学が有する今日的意義について、科学者と宗教学者が、研究と実証実験の二部門に分かれて議論・検証を重ねてきた。本年度は両部門が高野山に集結し、これまでの研究・実験成果を確認する場が設けられた。

更に、「声明研究会」および「巡礼遍路研究会」が発足、研究所の活動の裾野が広がった一年であった。

各々の活動の詳細については、左記のとおりである。

○「宗教と科学の対話」プロジェクト関連

【研究部門…「宗教と科学の対話」研究会】

※趣旨

宗教学、分子生物学、物理学、医学等、各学問領域における最先端の研究成果を持ち寄り、宗教と科学が有する今日的意義について議論をする研究会。

※メンバー

中村 本然（本学文学部教授・研究所長）
棚次 正和（京都府立医科大学教授・本学客員教授）
奥 健夫（滋賀県立大学教授・本学客員教授）
鮎澤 聡（筑波技術大学准教授・本学客員教授）
川田 薫（川田研究所所長・本学客員教授）
室寺 義仁（滋賀医科大学教授）

生井 智紹（本学名誉教授）

森 勇介（大阪大学大学院教授）

中村 泰治（昭和大学名誉教授）

※オブザーバー

村上 和雄（筑波大学名誉教授、公益財団法人国際科学振興財団バイオ

研究所長）

※定例研究会開催

第8回5月25日（日） 於…大阪ガーデンパレス

生井 智紹…宗教と科学の対話に向けて

第9回9月28日（日） 於…大阪ガーデンパレス

中村 本然…ディーパック・チョプラ著『スーパーストレイン』報告

第10回11月23日（日） 於…大阪ガーデンパレス

長谷川 晃…老子と現代物理学の対話―21世紀の哲学を求めて―

第11回1月25日（日） 於…大阪ガーデンパレス

森 勇介…弘法大師に学ぶ心理学的アプローチによるイノベーション創出

第12回3月22日（日） 於…大阪ガーデンパレス

中村 泰治…人間はすばらしいもの・尊いもの

【実証部門…「いのちと遺伝子」研究会】

※趣旨

祈りや瞑想が遺伝子にもたらす変化の研究。「護摩行が身心に及ぼす影響の作用機序と分子基盤の解明」を目的とした科学臨床データの収集。

※メンバー

村上 和雄（筑波大学名誉教授、公益財団法人国際科学振興財団バイオ研究所長）
鮎澤 聡（筑波技術大学准教授・本学客員教授）
大西 淳之（東京家政大学准教授）
堀 美代（公益財団法人国際科学振興財団バイオ研究所研究員）
坂本 成子（公益財団法人国際科学振興財団バイオ研究所研究員）
大西英理子（公益財団法人国際科学振興財団バイオ研究所研究員）

笹岡 知子（筑波技術大学助教）

松村 益子（医療法人財団謙仁会亀有病院顧問）

棚次 正和（京都府立医科大学教授・本学客員教授）

中村 本然（本学文学部教授・研究所長）

※実証実験実施

第2回6月8日（日） 於…横浜市弘明寺

【高野山ミーティング ―プロジェクト「宗教と科学の対話」と「いのちと遺伝子」研究会の交流会―】

※日時・場所

平成26年7月6日（日） 9時30分～16時 於…本学第三会議室

※参加者

「宗教と科学の対話」研究会および「いのちと遺伝子」研究会メンバー（前述）。メンバー以外の主な参加者は次のとおり。

長谷川 晃（大阪大学名誉教授）

池脇 美和（横浜市立みなと赤十字病院看護看護師長）

添田 隆昭（高野山真言宗事務総長）

藤田 光寛（本学学長）

和田 友伸（本学園事務局長）

【映画「祈り」サムシンググレートとの対話 高野山上映会とシンポジウム（祈りと病苦）】

真言宗病苦研究会主催行事の後援。

※日時

平成26年11月15日（土） 於…本学松下講堂黎明館

※シンポジスト

白鳥 哲（声優／俳優／映画監督）

添田 隆昭（高野山真言宗事務総長）

中村 本然（密教文化研究所所長）

小池 弘人（NPO法人統合医療塾理事）

○密教文化研究所研究会

【定例研究会】

第1回7月2日（水） 於…本学第一会議室

北川 真寛…『中壇・自行略次第』について

第2回7月30日（水） 於…本学第一会議室

井上ウィマラ・柴谷宗叔…「ケアの循環」という視点からみた密教と巡礼」

吉田 唯…「高野山大学図書館所蔵の神道書について」

第3回9月29日（月） 於…本学第一会議室

室寺 義仁…「無心」と「唯心」―「無心」の心から心を捉えるアビダルマ教

義解釈の思潮と「唯心」なる大悲の心を立てる大乘経の思潮―

第4回10月29日（水） 於…本学第一会議室

瀬岡 吉彦…『大日経』の構造―瑜伽行と慈悲行

第5回11月19日（水） 於…本学第一会議室

アロン・プロフィット…東アジアの秘密蔵における浄土教

静 春樹…マイトリパの僧院追放とアティシャ

第6回12月10日（水） 於…本学第一会議室

鈴木 晋恰…子弟養成における宗教的情操教育のあり方

八木 高秀…精神医学的視点で俯瞰した空海の生涯―空海の病跡（双極性障害との関連）

害との関連）

第7回12月17日（水） 於…本学第一会議室

森本 一彦…高野山における人の移動―『金剛峯寺諸院家析負頼』を中心として

第8回1月28日（水） 於…密教文化研究所会議室

森崎 雅好…自死遺族への支援の在り方について

【特別研究会（受託研究員 帰国報告会）】

5月20日（火） 於…本学第三会議室

神田 英昭…日本を離れてタイで仏教を考える

○南山教学研究会

【研究会】

第6回3月14日(金) 於…密教文化研究所会議室

小田 龍哉・高柳 健太郎…「自性身随縁化他」について

第7回5月23日(金) 於…密教文化研究所会議室

土居 夏樹…凡聖六大

第8回7月17日(木) 於…密教文化研究所会議室

北川 真寛…五仏心王

第9回10月17日(金) 於…密教文化研究所会議室

平賀由美子…十地仏果

第10回2月26日(木) 於…密教文化研究所会議室

平賀由美子…十地仏果(第2回)

【主催講演会】

第1回6月6日(金) 於…高野山霊宝館迎賓館

山陰加春夫 (高野山霊宝館副館長・高野山大学名誉教授)…中世高野山の文

書・帳簿保管システム

第2回6月26日(木) 於…本学第一会議室

坎 宥行 (金剛峯寺伽藍維那・宝善院住職)…高野山の論義について

○東日本大震災復興支援活動から学ぶ連続講座

第1回 5月28日(水) 於…本学第二会議室

西條 剛央 (早稲田大学大学院商学研究科専門職学位課程(MBA)専任

講師)

「復興支援における組織作りとリーダーシップ養成について」

第2回 6月4日(水) 於…本学第二会議室

稲場 圭信 (大阪大学人間科学研究科准教授

「災害救援マップの作成から見えてきた宗教の可能性」

第3回 6月25日(水) 於…本学第三会議室

千葉 淳 (釜石市在住)

「遺体安置所での活動から今大切にしていることへ」※映画「遺

体―明日への十日間」上映。

第4回 7月23日(水) 於…本学第二会議室

尾崎真奈美 (相模女子大学人間心理学科 准教授)

「3・11のPTG(心的外傷後の成長)におけるスピリチュアル

な成長」

第5回 9月24日(水) 於…本学第二会議室

白川美也子 (こころとからだ光の花クリニック 院長)

「虐待を生き延びること」

第6回 10月22日(水) 於…本学第二会議室

大井 玄 (東京大学 名誉教授)

「看取りの現場から見えてきたこと…密教・仏教を社会で生か

すために」

第7回 11月26日(水) 於…本学第二会議室

鈴木 岩弓 (東北大学文学部・同大学院文学研究科 教授)

「東日本大震災と臨床宗教師」

○南山進流 声明研究会 (平成二十六年十月発足)

【趣旨】

南山進流の実修および歴史・文化をはじめとする教学的裏付け・位置づけを
学び、後世に伝承する。

【能化】

宮田永明 (本学非常勤講師・高野山総持院上綱・南山進流声明の東南院流相

承者)

【会員数】

十四名

【研究会開催】

毎月二回の開催を原則とする。

○巡礼遍路研究会（平成26年9月発足）

【趣旨】

四国八十八ヶ所、西国三十三所等、日本国内ならびに世界各地の巡礼に関する研究・成果発表を行うと共に、会員相互の懇親を図る。

【役員】

名誉会長…日野西 眞定（本学名誉教授）

会長…中村 本然（本学教授、密教文化研究所所長）

事務局長…柴谷 宗叔（密教文化研究所研究員）

【会員数】

142名（12月31日時点）

【第一回研究発表会開催】

平成26年11月24日（月、振替休日） 於…本学第三（会議室）

※記念講演

吉川 俊宏（四国八十八ヶ所霊場会会長、四国霊場第五十二番太山寺 住職）

「四国霊場開創千二百年」

※研究発表

石坂朋久…豊島八十八ヶ所から見た首都圏写し霊場の実情と課題

角川博泉…澄禅の『四国遍路日記』を研究して歩く

鬼頭尚義…聖地巡礼と「聖地」巡礼―信仰と文芸の狭間

○中野義照博士奨学金

高野山大学では密教文化研究所初代所長中野義照博士の業績を顕彰するため、平成12年から「中野義照博士奨学金」を設けている。平成26年度は二件の申請があり、第二回密教文化研究所協議会において選考の結果、次の一件を採択した。

大柴 清圓…『三教指帰』校訂研究

密教文化研究所構成員名簿（平成27年2月現在）

○所長

中村本然（本学文学部教授）

○研究所顧問

松長有慶（高野山真言宗総本山金剛峯寺第412世座主・高野山真言宗前管長）

言宗前管長）

○特別招聘顧問

村上和雄（筑波大学名誉教授・公益財団法人 国際科学振興財団バイ

才研究所長）

○客員教授

鮎澤 聡（筑波技術大学准教授）

小川哲生（大阪大学教授）

奥 健夫（滋賀県立大学教授）

川田 薫（川田研究所所長）

棚次正和（京都府立医科大学教授）

森 勇介（大阪大学大学院教授）

○委託研究員

静 春樹（本学非常勤講師）

鈴木晋怜（智山伝法院常勤教授）

中村泰治（昭和大学名誉教授）

生井智紹（本学名誉教授）

日野西眞定（本学名誉教授）

室寺義仁（滋賀医科大学教授）

森 雅秀（金沢大学教授）

○専従研究員

トーマス・ドライトライン（本学文学部准教授）

土居夏樹（本学文学部助教）

○兼任研究員

藤吉圭二（本学文学部教授）

井上ウイマラ（本学文学部教授）

佐藤隆彦（本学文学部教授）

下西 忠（本学文学部教授）

野田 悟（本学文学部助教）

森崎雅好（本学文学部助教）

○専任研究員

北川真寛（本学大学院博士後期課程修了博士〈密教学〉）

○受託研究員

アールン・プロフィット（ミシガン大学大学院生・大谷大学研修員）

池田英司（本学大学院博士後期課程単位取得退学）

池田一城（大阪市立大学大学院博士課程・高野町教育委員会文化財専門員）

門員

石部道明（本学大学院博士後期課程単位取得退学）

上野康弘（本学大学院博士後期課程単位取得退学）

大柴清圓（中国国立中山大学中国語言文学系古文字学専攻博士課程修了博士〈文学〉）

了博士〈文学〉

岡田英作（京都大学大学院文学研究科文献文化学専攻仏教学専修博士課程、日本学術振興会特別研究員DC）

課程、日本学術振興会特別研究員DC

神田英昭（本学大学院博士後期課程単位取得退学）

坂口太郎（近畿大学・京都造形大学非常勤講師）

柴谷宗叔（本学大学院博士後期課程修了博士〈密教学〉）

瀬岡吉彦（大阪市立大学名誉教授 経済学博士、本学大学院博士後期課程単位取得退学）

程単位取得退学）

辻村優英（神戸大学経済経営研究所附属企業資料総合センター助教・博士〈人間・環境学〉）

博士〈人間・環境学〉

徳重弘志（本学大学院博士後期課程修了博士〈密教学〉）

中谷征充（本学大学院博士後期課程修了博士〈密教学〉）

沼野直子（本学大学院博士後期課程単位取得退学）

野口博司（本学大学院博士後期課程単位取得退学 本学非常勤講師）

平賀由美子（本学大学院博士後期課程単位取得退学）

洲田雲溪（本学大学院博士後期課程単位取得退学 本学非常勤講師）

前田禮子（本学大学院博士後期課程単位取得退学）

森本一彦（本学非常勤講師・博士〈学術〉）

八木高秀（近畿大学大学院医学研究科修了博士〈医学〉、本学大学院文学研究科修士課程通信教育課程修了）

文学研究科修士課程通信教育課程修了）

吉田 唯（兵庫大学短期大学部非常勤講師 博士〈文学〉）

吉見 博（國學院大学大学院文学研究科史学専攻博士前期課程）

趙 新玲（中国陝西師範大学宗教研究センター大学院生）

○研究所事務室

野田祐治

木下浩良

木野村由季

山下良子

『密教文化研究所紀要』編集委員会規程

第1条 密教文化研究所（以下「研究所」という。）に、『密教文化研究所紀要』（以下「紀要」という。）編集委員会（以下「編集委員会」という。）を設ける。

第2条 編集委員会は、次の委員をもって構成する。

（1）研究所長

（2）専任研究所員

（3）「紀要」編集担当者

2 編集委員長は研究所長がこれに当たる。研究所事務室長は、幹事として編集委員会の事務を処理する。

第3条 編集委員会は研究所長が招集し、その議長となる。議長に事故ある時は、互選によって議長を選出する。

第4条 編集委員会は、次の事項を審議し、研究所協議会に報告する。

- （1）「紀要」に寄稿された原稿の掲載の可否および掲載の時期の決定。
- （2）「紀要」寄稿者への補筆および修正の要請。

第5条 委員の任期は1年とする。ただし重任を妨げない。

第6条 この規程の改廃は、研究所協議会の議を経て、研究所長が決定する。

附則

この規程は、平成9年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成14年5月22日から施行する

『密教文化研究所紀要』寄稿規程

第1条 『密教文化研究所紀要』（以下「紀要」という。）は、日本およびアジア地域などにおける密教の思想と文化に関する研究論文、研究ノート、研究資料、書評などを掲載発表することにより、密教文化の研究の発展に寄与することを目的とする。

第2条 「紀要」に寄稿することができる者は、次のとおりとする。

（1）研究所長

（2）研究所員

（3）研究員

（4）編集委員会が適当と認める者

第3条 原稿は、原則として4000字詰原稿用紙70枚以内とする。

第4条 原稿は完全原稿とする。執筆者校正は再校までとし、校正時の大幅な改変・追加等は認めない。

第5条 寄稿された原稿は、査読委員会の査読を経て、編集委員会が掲載の可否および掲載の時期を決定する。また、編集委員会は、寄稿者に補筆および修正を求めることができる。

第6条 原稿料の支払い、掲載料の徴収は行なわない。

第7条 寄稿者には、掲載誌2部および抜刷30部を贈呈し、その経費は研究所が負担する。

附則

この規程は、平成9年4月1日から施行する

執筆者紹介（掲載順）

吉田 唯

密教文化研究所受託研究員

トーマス・ドライトライン

本学准教授・密教文化研究所専従研究員

静 春樹

本学非常勤講師・密教文化研究所委託研究員

大柴清圓

密教文化研究所受託研究員

岡田英作

密教文化研究所受託研究員

辻村優英

密教文化研究所受託研究員

徳重弘志

密教文化研究所受託研究員

編集後記

○『高野山大学密教文化研究所紀要』第二十八号をお届け致します。

七人の研究員・研究所員による多彩な論考は、本年度の密教文化研究所の研究成果の一端を飾るものです。読者諸氏におかれましては、ご指導ご鞭撻の程をお願い申し上げます。

○本年度は、研究所研究会および南山教学研究会等の研究会に加え、新規に「声明研究会」「巡礼遍路研究会」の二つが立ち上がり、教学の継承と発展に向けて一歩前進した一年と位置づけております。また、「宗教と科学の対話」をテーマに、宗教学者と科学者が研究および実験の成果を持ち寄り一同に会した「高野山ミーティング」を開催、更に、祈りの効果を科学的な視点から考察したドキュメンタリー映画『祈り』高野山上映会とシンポジウムを開催（主催・真言宗病苦研究会）。これらの活動を通して、仏教・密教をはじめとする宗教が、複雑化する現代社会の諸問題の解決に向けて重要な役割を担うことを、科学の立場からも期待されていることを実感しました。

なお、これら「宗教と科学の対話」に関するプロジェクトにつきましては、村上和雄先生（筑波大学名誉教授）率いる国際科学振興財団バイオ研究所様の研究協力と、大阪市の精密機器メーカー・株式会社フジキン様から小川修平前会長の遺志金の御寄付によるものであることも、ここにご報告いたします。

○昨年度から、「東日本大震災復興支援活動から学ぶ連続講座」を継続開催、斯界の第一線で活躍の講師陣を迎え、僧侶や研究者から一般の方まで、年間100名を超える参加者が集い、突然の悲劇にどのように向き合うかを共に考えて参りました。本年は阪神・淡路大震災から二十年の節目の年でもあ

ります。今後、南海トラフ地震および首都直下地震等の発生も危惧されており、物心両面における災害時ケアの必要性は従来以上に高まっております。本講座で学んだ知識や問題意識を当研究所の活動に反映し、よりよい形で社会に還元できるよう、鋭意努力して参ります。

なお、本事業につきましては、高野山真言宗東日本大震災災害対策本部のご後援をいただき、本宗団から六十万円もの貴重な浄財を賜りましたことも、ここに報告いたします。

○本年は、高野山開創千二百年の記念の年です。当研究所としまして、「温故知新」を合言葉に、弘法大師の思想・密教の思想を初心に立ち返って学びと共に、研究成果を広く社会へ発信する一年とするべく、所長以下、研究員・研究所員・スタッフ一同、決意を新たにしております。

今後も密教文化研究所の活動にお力添えの程、よろしくお願い申し上げます。

(野田)

高野山大学密教文化研究所紀要 第二十八号

平成二十七年三月三日 印刷
平成二十七年三月十日 発行

編集者 密教文化研究所

代表者 藤田 光寛

発行所 密教文化研究所

和歌山県伊都郡高野町高野山三八五 高野山大学
電話(〇七三)五六―三三九〇 千六四八―〇二八〇

印刷所 株式会社 協和

和歌山県海南市南赤坂五十三
電話(〇七三)四八三―五二二一 千六四二―〇〇一七

